

ブラジル日本移民百周年記念モニュメント制作 絹谷 幸太さんが帰国報告展を開催



市役所玄関ホールに設置されたモニュメントと写真パネル

ブラジル日本移民百周年を記念して、稲田産とブラジル産の花崗岩を使ったモニュメントをサンパウロ市のカルモ公園に寄贈した彫刻家の絹谷 幸太さんがこのほど帰国し、10月6日から17日まで、笠間市役所と茨城県庁で「ブラジル・モニュメントプロジェクト報告展」を同時開催しました。市役所の玄関ホールには、「夢と感謝」の思いを込めた石のモニュメントが設置されたほか、皇太子さまもご臨席されたブラジルでの除幕式の様子などを記録した写真パネルが展示され、両国の強いきずなを印象付けました。

第46回茨城県空手道選手権大会で優勝

小学2年女子「形の部」

大高 優依選手（佐城小学校）



第2回笠間市民ソフトボール大会開催結果

◆壮年の部（9/28・柿橋グラウンド）

優勝：大古山

準優勝：柿橋団地

第3位：八幡台、原団地

◆シニアの部（9/28・岩間海洋センター）

優勝：岩間アカツキ



いきいきヘルス体操に励む南吉原長寿会の皆さん

ま ち の 話 題

いきいきヘルス体操で健康づくり

南吉原長寿会（会長：原田伸家さん、会員：約90人）では、毎月第3土曜日に、シルバーリハビリ体操指導士会笠間支部（支部長：飯村七重さん）の指導の下、地区の集会所で「いきいきヘルス体操」を続けています。この体操は、高齢者の介護予防のために考案された茨城県独自のもので、いつでも・どこでも・簡単にできるのが特徴です。参加者によると、回数を重ねるごとに、楽に体を動かせるようになったとのこと。原田さんは、これからは運動を心掛け、寝たきり知らずの健康長寿を目指していきたいと話していました。

笠間芸術の森公園で 秋のにぎわい

10月12日、笠間芸術の森公園で複数の恒例行事が開催され、多くの来場者でにぎわいました。同日開催されたのは、第11回笠間焼フェア（主催：笠間焼協同組合）、三館フェスタ（主催：笠間芸術の森公園地区施設運営協議会）、秋季都市緑化祭（茨城県・笠間市共催）の三つ。笠間焼フェアでは秋の新作展示販売、三館フェスタでは3団体によるお囃子の演奏、秋季都市緑化祭ではインテリアグリーン教室などが行われ、同会場とあって様々なイベントを楽しむことができました。



インテリアグリーンづくりを楽しむ来場者

あんどん 「笠間ひまわり行灯夜市」 夜の笠間稲荷門前通りが光の回廊に

今年度の茨城県がんばる商店街支援事業商店街活性化コンペ事業優秀プランを受賞した「笠間ひまわり行灯夜市」が、10月12日夜、笠間稲荷門前通りで開かれました。この催しは、ひまわりの種から抽出した油の行灯で路上をともし、地球環境への配慮と商店街の活性化に役立てようという初の試み。歩行者専用となった通りには、紙コップの行灯で「笠間ひまわり行灯」の文字が大きく描かれたほか、ひまわりの絵のオブジェや色とりどりの和傘、屋台、フリーマーケットなどが並び、多くの来場者でにぎわいました。



ひまわり油の「光の回廊」となった笠間稲荷門前通り

秋を満喫！

「生き生き菜園はなさか」でサツマイモ収穫祭

10月12日、市民農園「生き生き菜園はなさか」（市内橋爪）でサツマイモの収穫祭が行われました。サツマイモの栽培は、市民農園の空き区画を活用し、利用者有志の共同作業として取り組んできたもの。6月に苗を植え付け、グループごとに草取りなどの管理をしながら、待ちに待った収穫の日を迎えました。収穫したサツマイモは、焼きいもやふかしいも、カレーの具になり、秋の恵みを堪能しました。



28人が参加したイモ掘り作業

第3回 笠間市合唱祭 10団体、240人が一堂に

10月5日、笠間公民館大ホールで「第3回笠間市合唱祭」（主催：笠間市合唱連盟・笠間市文化祭実行委員会）が開かれ、10団体が日ごろの練習の成果を発表しました。参加したのは、発表順に、女声アンサンブル・萌、岩瀬すみれコーラス、友部小学校合唱隊、アンサンブル Kanon、笠間少年少女合唱団、城里童謡を歌う会、マーガレット・エコー、女声コーラス・華、ひまわりコーラス、女声合唱団コール・ポプリ。ほぼ満員となった会場では、合唱祭の前後と中間に参加者全員による大合唱も行われました。



合唱祭のオープニングで行われた参加者全員による大合唱